



No.58

令和2年7月21日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



関連記事 P16

Contents

コロナ対応	コロナウイルスに対する議会の対応……	2
臨時会・定例会	工事契約・条例改正について審議……	4
一般質問	コロナ対策協力金 など 5人登壇……	9
広域議会	若狭広域ごみ処理場について……	14
追 跡	町づくり事業制度について……	15

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症への 議会の対応についてご報告いたします

おい町議会では、自然災害や原子力災害、感染症の蔓延等の災害が発生した場合に、議会及び議員が行うべき「災害時等行動基本指針」を定めています。

この行動指針では、災害時の議会の役割として、町民の安心安全を確保するために、

- ・地域の災害状況や被災者からの要望を踏まえ町に対して提案提言を行う。
- ・町と調整し国や県に対して要望活動を行う。
- ・復旧復興に向けて提案される議案等を速やかに審議する。

こととなっています。議会では、今回の新型コロナウイルス感染症に対して、「おい町議会災害対策会議」を設置し、町の災害対策本部と情報を共有しながら、次のような対応を行っています。

▶ 地域の意見をまとめ町に対応を要請

4/22

町民が日常生活を安心して過ごせるための強力な支援が必要であることから、町の状況や住民のニーズを把握したスピード感のある取り組みを求めました。



議長から要請書を提出



商工会からの要望を受ける

要請の内容は

- **教育**…休校中の児童生徒の学びや健全な生活環境の確保
- **商工**…外出自粛要請による商工事業者への影響を踏まえ、事業継続についての支援
- **衛生**…感染予防を徹底するために、公共的施設への衛生資材を充足
- **生活**…在宅時間の長期化や世帯収入の減少など、経済的な負担増に対する負担軽減対策。コロナに関係する情報提供の充実と、情報提供手段の拡充

▶ おおい町「コロナに負けるな!!」 緊急対策予算に対応

5/8

コロナ対策として町が行う予算措置（4月専決予算）についての説明を求めました。

6/9

おおい町「コロナに負けるな!!」緊急対策にかかる予算措置（4月専決予算）について、6月定例会において専決処分※を承認しました。



※専決処分とは…本来議会の議決を経なければならない事項について、地方自治法に基づき、議会の議決決定の前に首長が自ら処理することです。緊急を要する場合などに専決処分をすることができます。

▶ 電力事業者に対し、感染予防策の徹底を申し入れ

4/10・24

大飯発電所3号機の定期点検にあたり、感染予防対策と管理を確認し、感染予防の徹底を申し入れました。



発電所入構時の体温チェック

申し入れの内容は

- 作業員入構2週間前からの管理体制の強化
- 宿泊所対策やバスの乗車時対策
- コロナウイルスの感染に関する情報の提供（PCR検査の状況報告など）

▶ 福井県町村議長会から県に対し、緊急要望書を提出

5/13

おおい町議会からも要望を取りまとめ、町村議長会に提出しました。

福井県町村議長会から県に対する緊急要望の内容は

- PCR検査体制の充実と、嶺南地域の医療機関の整備・充実
- 地方財政に対する財政的支援の充実と拡充
- 影響を受ける事業者への支援と、終息後の地域経済回復への対策
- 休校措置に対する児童等への対策

令和2年 第2回（4月）臨時会 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
承認 1	専決処分の承認を求めることについて (町税条例の一部を改正する条例)	〈全協〉	承 認	P5
承認 2	専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		承 認	
議案 34	介護保険条例の一部改正について		原案可決	
同意 1	教育委員会委員の任命について		同 意	
—	委員会の閉会中の継続調査	—	閉会中の継続調査	

賛否が分かれた議案

	屋敷	田中	堤	桑田	細川	原田	藤原	辻	尾谷	猿橋啓	浜上	今川	松井	猿橋巧
承認 2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席（※尾谷議長は採決に加わらない。）

令和2年 第3回（6月）定例会 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
承認 3	専決処分の承認を求めることについて (町税条例の一部を改正する条例)	〈全協〉	承認	P5
承認 4	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度一般会計補正予算（第1号）)		承認	P4～P5
承認 5	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）)		承認	P6
承認 6	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）)		承認	
報告 1	令和元年度一般会計繰越明許費繰越計算書		報告	
報告 2	令和元年度特定環境保全公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書		報告	
報告 3	株式会社おおいの経営状況報告について		報告	
報告 4	株式会社名田庄商会の経営状況報告について		報告	
報告 5	わかさ大飯マリンワールド株式会社の経営状況報告について		報告	
報告 6	公益財団法人グリーン大飯農業公社の経営状況報告について		報告	
報告 7	株式会社名田庄ウッディーセンターの経営状況報告について		報告	
報告 8	おおい町土地開発公社の経営状況報告について		報告	
議案 35	町税条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P6～P7
議案 36	国民健康保険税条例の一部改正について		原案可決	
議案 37	後期高齢者医療に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案 38	国民健康保険条例の一部改正について		原案可決	
議案 39	一般会計補正予算（第2号）	〈予算〉	原案可決	P7
議案 40	国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案 41	簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案 42	農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案 43	工事請負契約の締結について（急傾斜地崩壊対策工事（岡田地区））	〈産建〉	原案可決	P8
議案 44	工事請負契約の締結について（河川改良工事（畑村川））		原案可決	
議案 45	工事請負契約の締結について（遠方監視システム通信方式改修工事）	〈総務〉	原案可決	
議案 46	工事請負契約の締結について (上下水道遠方監視システム光ケーブル引込工事)		原案可決	
発議 1	原子力発電施設立地地域の振興に関する特別措置法の期限延長等を求める意見書について	—	原案可決	
—	委員会の閉会中の継続調査	—	閉会中の継続調査	
—	議員派遣報告及び議員派遣	—	報告及び派遣	

賛否が分かれた議案

	屋敷	田中	堤	桑田	細川	原田	藤原	辻	尾谷	猿橋啓	浜上	今川	松井	猿橋巧
議案 39	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
発議 1	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席（※尾谷議長は採決に加わらない。）

※略称 〈全協〉議員全員協議会、〈総務〉総務常任委員会、〈産建〉産業建設常任委員会、〈予算〉予算決算常任委員会
〈原特〉原子力発電対策特別委員会、〈振興〉地域振興対策特別委員会

コロナ対応

審議内容

一般質問

広域議会

追跡

第2回臨時会
教育委員会委員の任命に同意

■審議内容

臨時会に付議された、承認2件、議案1件、同意1件を審査した。

■専決処分の承認

●承認1号〈全協〉

おおい町町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

【主な改正内容】

所有者不明の土地などに係る固定資産税を、使用者を所有者とみなし課税できるようにするもの。

【全会一致・可決】

●承認2号〈全協〉

おおい町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等を一部改正する政令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

併い、条例の一部を改正するもの。

【主な改正内容】

課税限度額を引き上げ、低所得者の国民健康保険税の軽減措置を拡大するもの。

【全会一致・可決】

■議案審議

●議案34号〈全協〉

おおい町介護保険条例の一部改正について

消費税引き上げに合わせ、低所得者の介護保険料を軽減するもの。

【全会一致・可決】

●同意1号〈全協〉

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、次の方の任命に同意した。

【再任】 藤原はるみ
(名田庄口坂本)

【全会一致・同意】

第3回例会
4月専決予算の承認

■審議内容

定例会に付議された、承認4件、報告8件、議案12件、発議1件を審査した。

■専決処分の承認

●承認3号〈全協〉

おおい町町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行ったもの。

●承認4号〈全協〉

令和2年度おおい町一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急経費
14億3,294万3千円増額

【主な歳出内容】

○防災対策事業

感染症対策の長期化および出水期の避難所対策

に備え、消毒液やマスクを備蓄し、町民1人あたり50枚のマスクを配布するもの。
6303万円

○新型コロナウイルス感染症対策学習支援事業

県が作成する学習動画をCATVで放映し、インターネットでも動画配信を行う経費。
24万8千円

○母子保健事業

県外で出産を予定している妊婦が自己負担でPCR検査を受ける場合の費用を助成するもの。
56万円

○特別定額給付金支給事業(コロナに負けるな!! 町民応援給付金)
感染症拡大による各世帯の経済的影響を緩和するために給付金を支給するもの。

4億1000万円



○商工管理事業(新型コロナウイルス感染症予防対策協力金)
町からの依頼に応じて休業などを行う事業者に対して協力金を支給するもの。
7450万円

○特用林産物地域定着促進事業
外食産業の休業などによりシイタケ生産組合が乾燥シイタケの生産に対応するために要する経費を助成するもの。
192万3千円

主な質疑

問

コロナの影響を受けた事業者で、現在中小企業振興資金を利用している場合の対応は、

答

本年度に限り、利子補給などを全額補給することで、現行制度より有利な融資を臨時的に行うもので、これまでにこの事業を利用した事業者には、借り換えでの対応となる。

問

特用林産物地域定着促進事業では、販路拡大のため乾燥シイタケを生産するということだが、販路は確保しているのか。

答

乾燥シイタケは値上がりしており、今後の需要拡大も含め、コロナ禍の影響回避の目的と併せ導入するもので、販路などはこれから開拓していく。

問 国の特別定額給付金に町単独で5万円を上乗せすることへの考え方は。

答 コロナ禍がいつ終息するか分からない中、それぞれの困ったことに使えるよう、公平・平等の観点から、町民全員に一律給付することとした。

問 休業協力した事業者に上限100万円を給付するが、この協力は課税対象となるのか。

答 税務上は雑収入となり、一時所得として課税対象となる。

承認5号〈全協〉
令和2年度おい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）
25万7千円増額

承認6号〈全協〉

令和2年度おい町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
88万8千円増額

報告事項

報告1号〈全協〉

令和元年度おい町一般会計繰越明許費繰越計算書

報告2号〈全協〉

令和元年度特定環境保全公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

報告3号〜8号〈全協〉

地方自治法の規定に基づき、令和元年度の経営状況の報告を受けた。

①株おおい

GWが10連休だったため、各施設増客となった。通年ではコロナの影響を受け売上高は昨年を下回った。

②株名田庄商会

コロナの影響は大きかったが、新商品開発・販売の効果で損失は最小限に抑えた。

③わかさ大飯マリンワールド(株)

残り1区画の民間企業誘致の早期実現に向けて、町と連携強化に努める。

④株名田庄ウディセンター

年間通じ出材が少なく、取扱量は前年比17%減となった。

⑤(公財)グリーン大飯農業公社

6条コンバインを導入。新たな担い手確保につながるよう努める。

⑥おい町土地開発公社

町と連携し保有用地の有効活用推進について積極的に努力した。

令和元年度経営状況報告表

単位：円

法人名	売上高（委託料・補助金を含む）		純利益	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
① 株おおい	792,751,228	798,449,539	8,713,652	8,603,999
② 株名田庄商会	216,062,368	214,211,765	△1,667,575	136,140
③ わかさ大飯マリンワールド(株)	40,220,478	39,181,765	13,868,656	20,437,845
④ 株名田庄ウディセンター	21,326,046	24,790,010	△1,453,383	1,092,572

⑤、⑥については非営利団体のため経営状況報告を省略しています。

議案審議

議案35号〈総務〉

おい町町税条例の一部改正について

【主な改正内容】

すべてのひとり親家庭に対して、公平な税制を実施するもの。

主な質疑

問 事実婚の場合はどうなるのか。

答 事実婚のような家庭は含まない。

問 改正後の控除額は。

答 500万円以下の所得の場合、35万の同一控除額になる。

【全会一致・可決】

議案36号〈総務〉

おい町国民健康保険条例の一部改正について

【主な改正内容】

低未利用土地などの譲渡による特別措置分を追加するもの。

【全会一致・可決】

議案37号〈総務〉

おい町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

【主な質疑】

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者などに対して傷病手当を支給するもの。

主な質疑

問 新型コロナウイルスに感染した人は、自宅待機期間が法的に定められているのか。

答 支給期間はその日数か。法律で特に休養期間の定めはない。

問 労務に服することができなくなった4日後から医者が就業しても良いと判断する日が支給期間である。

【全会一致・可決】

議案38号〈総務〉

おい町国民健康保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者などに対して傷病手当を

コロナ対応

審議内容

一般質問

広域議会

追跡

支給するもの。

【全会一致・可決】

●議案39号〈予算〉

令和2年度おおい町一般会計補正予算（第2号）
3億443万5千円増額

【主な歳出内容】

○嶺南スマートエリア推進事業

福井県が行う嶺南スマートエリア構想に係る実証実験として、若狭本郷駅駐車場に※V2Hを設置するもの。

※V2H：
電気自動車等の電力を家庭用の電力供給源として利用すること。

661万3千円

○戸籍住民基本台帳事業

令和5年度中に、各種社会保障手続きや戸籍の届出の際に、戸籍謄抄本の提出をなくすためのネットワーク構築費用。

642万4千円

○予防事業

定期予防接種に口タウ

イルスワクチン予防接種が追加されたための接種委託料。

106万6千円



○うみんぴあ大飯事業

うみんぴあ大飯の街路灯整備、モニユメント及びライトアップ整備、シーサイドスパおおいの湯への太陽熱給湯システムの導入などにかかる費用。

2億296万5千円

○漁港管理事業

大島漁港物揚場のコーナ材を新しいものに切り替える費用。

116万円

○文化活動推進事業

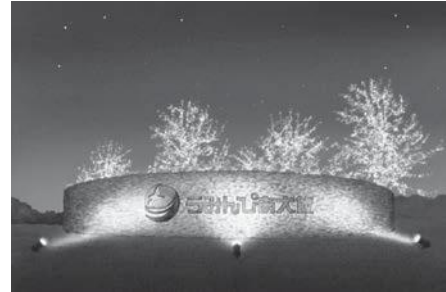
大島子どもみこし保存会の祭用コスチューム整備に助成を行うもの。

250万円

主な質疑

問 「うみんぴあ大飯」に設置するモニユメントの概要は。

答 国道からの入口部に設置するもので、モニユメントの後ろに樹木を植え、ライトアップすることで、夜間でも印象的な演出を行い、認知度や集客力を高めたい。



問 県の保育料無償化の拡大について、拡大分の町への補助金額は。

答

3人分で4万2千円を見込んでいます。

問

本郷地区と尾内地区で宅地造成が計画され、上下水道管を敷設することについて、当該土地の地目は宅地となっているのか。

現在、宅地造成の計画として申請を受けている段階で、当該土地の転用などの手続き完了を確認後、事業に着手する。

答

現在、宅地造成の計画として申請を受けている段階で、当該土地の転用などの手続き完了を確認後、事業に着手する。

【賛成多数・可決】

●議案40号〈予算〉

おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

39万8千円増額

●議案41号〈予算〉

おおい町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
1540万円増額

●議案42号〈予算〉

おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
1960万円増額

1960万円増額

●議案43号〈産建〉

工事請負契約締結について（急傾斜地崩壊対策工事（岡田区））

急傾斜地崩壊危険区域の岡田地係において崖崩れによる災害から住民の生命を保護するための対策工事。

・契約金額
1億199万2千円

・契約の相手方
株式会社時岡組

主な質疑

問 区内道路は狭いが、安全対策はどのように行うのか。

答 保安設備などを設置し、事故防止など安全対策を行う。

問

2年計画となっているが、来年度で完成するのか。

答

県に対して事業の要望を行い、できるだけ早い事業完了を目指す。

問

本工事に伴い計画している作業用道路や作業ヤードは、次期工事でも活用するのか。

答

作業用道路や作業ヤードは、引き続き次期工事にも活用する。

【全会一致・可決】



急傾斜地崩壊対策工事場所

●議案44号〈産建〉

工事請負契約締結について
(河川改良工事(畑村川))

河川護岸の改修工事を
行い、機能強化、災害の
未然防止を図る。隣接す
る町道畑村線の拡幅整備
を行い、安全で円滑な道
路交通を確保するための
工事。

・契約金額

1億505万円

・契約の相手方

株式会社荒木

主な質疑

問 河床が浅くなる部
分があるが、排水
能力などに問題はないか。

答 新規計画では河床
が上昇する部分があるが、勾配を一定に保
つことで、排水能力に問
題はない。

問 1000年に一度
の豪雨にも対応し
た設計となっているか。

1000年に一度
の豪雨にも対応し
た設計となっているか。

答 現地の降雨量や地
形等を考慮し、既
存河川の状況に合った排
水能力を有する断面を確
保している。

【全会一致・可決】

●議案45号〈産建〉

工事請負契約締結につ
いて(遠方監視システム通
信方式改修工事)

上下水道施設の稼働状
況を把握する遠方監視シ
ステムの通信の伝達方式
を光回線へ更新する工
事。

・契約金額

1億7097万

2千8百円

・契約の相手方

シンク・エンジニアリン
グ株式会社 関西支店

主な質疑

問 この入札では落札
した事業者も含め、上位3社の入札額が
1円単位まで同じである
が、このことについて説

明をもとめる。

答 町の入札における
最低制限価格につ
いては、県の最低制限価
格の計算式に準じて設け
ており、町は公表してい
ないが、県では最低制限
価格の実施要領を公表し
ている。事業者はそれに
基づき計算を行った結
果、最低制限価格を予測
して応札されたものと認
識している。

問 電子入札で同額と
なった場合の抽選
規定はどのようになっ
ているか。

答 参加事業者があら
かじめランダムに
数字を登録しており、同
額での抽選となった場合
には、登録した数字に
よって抽選結果がでる。

【全会一致・可決】

●議案46号〈総務〉

工事請負契約締結につ
いて(上下水道遠方監視シ
ステム光ケーブル引込工
事)

議案第45号に係る光
ケーブルの引込工事。

・契約金額

9779万円

・契約の相手方
西日本電信電話株式会
社

主な質疑

問 随意契約となった
経緯は。

答 町内の光回線シス
テムについては、
平成19年度にNTT西日
本と長期回線使用契約を
締結しており、光ケーブ
ルの保守管理を継続して
行っていることから、当
該工事はNTT西日本以
外施行できないため、競
争入札には適さず、随意
契約としている。

【全会一致・可決】

●発議1号

原子力発電施設等立地地
域の振興に関する特別措
置法の期限延長等を求め
る意見書について

原子力発電施設等立地
地域の振興に関する特別
措置法の期限を延長する
とともに、対象事業を拡
大し、国の負担割合を引
き上げ、不均一課税に伴
う特例措置の対象業種を
拡大し、雇用規模等の要
件緩和を求める意見書を
国会及び関係行政庁に提
出するもの。

【賛成多数・可決】

討論

■議案39号

●反対 猿橋 巧議員

戸籍法改正により各種
手続きにおいて制度自体
に疑問の声が大きいマイ
ナンバーを利用すること
で、国による個人情報管
理への不安がある。また、
うみんぴあ大飯への多額
投資は不要不急である。

○賛成 屋敷 浩道議員

うみんぴあ大飯事業で
は、LED街路灯の整備
が盛り込まれ、夜間の安
全性が高まる。財源とし
てエネルギー構造高度
化・転換理解促進事業補
助金などを充て、適正に
見込まれた予算編成と
なっている

■発議1号

●反対 猿橋 巧議員

自治体の原発依存体質
が改められなくするもの
である。

企業や一次産業者への今後の支援は

町長 プレミアム付き商品券の発行や販路の拡大などに町として支援をしていく



屋敷 浩道

問 コロナ禍で、町の飲食店に多大な影響を及ぼした。協力金の支給が決定した経緯は。

答 (町長) 町として独自の対策を検証した結果、3密および、県外からの人の流入を回避するために店内での飲食休止や休業をお願いし、協力いただいた事業者に協力金を支給することにした。

問 対象店舗数と支給した店舗の割合は。

答 (商業観光課長) 飲食店関連では23件で、そのうち協力が得られた件数は20件。割合は87%であった。

問 県より厳しい店内での飲食を一切禁止とする決定は、さらに飲食業者への影響を拡大させたのではないか。

答 (商工観光課長) 感染者を町内から発生させないことを最重要と考え、県の要請よりさらに安全側に立った予防対策として協力をお願いした。

問 店内飲食禁止で、量販店などに人が集中し密になると予測できなかつたのか。

答 (商業観光課長) 県では生活必需品販売施設については休止を要請しない施設とした。量販店などにおいては、それぞれの業界団体においては、感染拡大予防ガイドラインに基づく対策を講じていると認識している。

問 今後の支援策として、コロナの影響を受けた店舗を対象にプレミアム付商品券の発行などを考えるべきでは。

答 (町長) プレミアム付商品券の発行といった経済対策についても大変重要であると認識している。



問 収入が減った一次産業者への支援は。

答 (町長) 町の魚、野菜、米を流通させる取り組みを展開し、一次産業の活性化に努めていきたい。販路の拡大、将来につながるアイデアを出していく、しっかりと町としても支援を考えた。

町民がいきいきする事業について

問 中止が決定した大火勢などの予算を有効活用し、冬場の花火大会など町民向けのイベントができないか。

答 (商業観光課長) 町民の意見やアイデアなどを積極的に取り入れていくことで、町ぐるみの新たな取り組みへとつなげていきたい。

コロナ収束後の観光誘客について

問 収束後、迅速に新たな観光PRや冬場の誘客ができるよう、攻めの側面からも今から準備が必要と考えるが。

答 (商業観光課長) 収束まで長期化が避けられない状況ではあるが、一方で経済面を含めた町の活性化や観光客の誘致などについては手

を緩めず、攻めの姿勢で取り組む必要があるものと認識をしている。

問 新しい生活様式に対応した観光誘客のため、うみんぴあ大飯にグランピングエリアの整備を。

答 (町長) 昨年11月に研修で長崎の廃校を活用したグランピング施設を見学した。今後はコロナ感染症によってアウトドアの部分がさらに拍車をかけてくる。しっかりと検討し取り組む。



頭巾山青少年旅行村グラウンドゴルフ場の誘客方法は

町長 山々に囲まれ、空気の澄んだ自然豊かなグラウンドゴルフ場として、県内外に広くPRを行う



桑田 和弘

問 利用料金は、どのようにするのか。

答 (商工観光課長) 供用開始するまでに、料金を定め、町民にお知らせする。

問 コンペ募集や月例会を開催し、日本グラウンドゴルフ協会認定コースとすることも必要と思うが、どのような考えがあるか。

答 (副町長) コンペの募集や月例会の開催といったことに加え、日本グラウンドゴルフ協会の認定コース取得についても、申請の手続きを行う。

問 グラウンドゴルフ場に専属の現場管理人が必要ではないか。



答 (町長) 秋以降の供用開始を目指して、平日利用を中心とした誘致企画を立て、集客の拡大やリピーターの獲得を図る。

答 (商工観光課長) 専属の管理人の雇用は、人員配置の観点から難しい。町のグラウンドゴルフ協会に指導・協力してもらい、指定管理者にコース管理に必要な知識や技術の習得に努めもらう。



頭巾山グラウンドゴルフ場

水道ビジョンについて

問 「中期目標」(平成21年度から平成30年度)における浄水施設の対策、監視システムの強化についての、経過と現状は。

答 (くらし環境課長) 浄水施設の対策については、ろ過設備の更新や紫外線処理施設の導入などを行い、水質の安全性や信頼性の確保に努めている。監視システムの強化については、通信体系の充実を図るため、システム改良工事を進めている。

問 「長期目標」(平成21年度から令和10年度)における災害に強い水道施設として、施設の老朽化対策、耐震化対策についての経過と現状は。

答 (くらし環境課長) 水道管の更新と耐震管への更新も必要ではないか。

答 (くらし環境課長) 水源対策では、平成24年度に大津呂ダムの完成により「本郷地区簡易水道」の水源を確保した。また、名田庄東部地区と中部地区の施設統合に着手し、災害に強い水道施設の老朽化対策や耐震化対策について、施設の更新計画の検討を行っている。

問 水道管の更新と耐震管への更新も必要ではないか。

答 (くらし環境課長) 水道管の更新については、耐震化対策と併せて考える必要があり、今後は財政面も考慮しながら、計画性を持って検討する。

問 海洋プラスチックごみ問題について

答 海洋プラスチックは、生態系、生活環境、漁業、観光などへの悪影響を及ぼす。年々増加するこの海洋プラスチックごみ問題について、対策は。

答 (副町長) 不法投棄の対策として、町で委託している「おい町環境保全監視員」によるパトロールや海底清掃を実施している。また、マイバックについて、「第2次おい町環境基本計画」の調査結果では、約7割の町民がマイバックを利用し、レジ袋などのプラスチックごみの減量化にご協力いただいている。



海岸に漂流したプラスチックごみ

コロナ禍で、学習の遅れを最小限に

教育長

児童生徒の過度の負担にならないように授業日
を確保することで遅れは今年度中に取り戻す



田中 秀樹

問

休校中で、児童生徒の学習は継続する必要がある。休校で遅れた学習を取り戻すスケジュールは。

答

(教育長) 週の何日か授業の時間数を増やすとともに、学校行事の見直しや夏休み期間を短縮し、授業日確保することで、遅れは今年度中に取り戻す。

問

学校生活に戻る児童生徒にはストレスがかかっており、家庭や学校において精神面の配慮が必要。また、教

答

(教育長) 児童生徒の中には感染症に対するストレスもあり負担増が懸念されるが、負担軽減に取り組み考えはないか。

答

(学校教育課長) 国のGIGAスクール構想も示されているので、町として国の補助金を活用し、早期に実現出来るように現在検討している。



問

第2波第3波への備えとして、タブレット端末を全児童生徒に早期に導入し、家庭での学習を継続させる考えはないか。

答

(町長) 基本設計においても空間を大きくとり、密にならない構造となるようにしているが、実施設計においてはさらに、感染対策における現在までの知見のうち、取り入れることができる対策については積極的に取り入れる。

問

朝夕の預かる時間の延長など、制度を拡充される考えはないか。

答

(すこやか健康課長) 病児・病後児保育

チャレンジジョップや複合商業施設について

問

チャレンジジョップの規模や、感染症対策に対応し、安心して誘客できる施設に設計を見直す考えはないか。

答

(すこやか健康課長) 30年度に行った保護者へのニーズ調査では、病児送迎についての意見はなかったため、病児送迎の実施は現段階では難しいと考える。

問

病児保育送迎サービス事業を実施する考えはないか。

問

常設のボランティアセンターは被災地の情報収集やボランティア派遣のボランティアバスの運行などの活動が行える、町から被災地への支援活動を実施する考えはないか。

答

(副町長) 現在県下の市町で常設のボランティアセンターを設置している自治体はない。過去の例も見ながら今後町に合った体制づくりについて検討していく。

答

(副町長) 町の社会福祉協議会で「おい町災害ボランティアセンター連絡会」を設立し、研修や防災・減災のための普及啓発活動や、災害時には町や関係団体との連携・協力の体制の構築を図っている。

新型コロナ感染症の今後の方針は

町長 必要であれば法的な裏付けはなくとも町独自の判断、対応もしていく



辻 徹

独自の判断、対応もしていきたいと考える。

問 感染者のほとんどが嶺北であり、県内一斉の自粛でなくてもよいのでは。

答 (町長) 無症状の方でも感染力を持つている方がいることから、総合的に考えると慎重な対応をしていかなければならない。町としての対応が一定の効果を示していると考えており、ワクチンが開発され、免疫を有するまでは今後に備えて慎重な判断が必要と考える。

問 舞鶴市には大飯発電所に従事する方が多いため、感染防止の観点から、関係者などとの連携し、対策強化をして

問 緊急事態宣言が解除されたが、第2波の発生も懸念されている。

答 これまでは、国・県の方針に基づき対応がなされたが、今後、町独自の判断も考えていくのか方針は。

答 (町長) 画一的な対応を図ることは重要であるが、一方では地域の実情にあわせたきめ細かな対応も重要と考える。これまでの経験を踏まえ、必要であれば法的な裏付けはなくとも町

問 舞鶴市には大飯発電所に従事する方が多いため、感染防止の観点から、関係者などとの連携し、対策強化をして

いく必要があるのでは。

答 (町長) 大飯発電所については3月の早い時期から再三にわたって感染を持ち込まない視点で申し入れを行い、他の発電所よりもはるかに慎重な取り組みを行っている。

問 生活圏である舞鶴市との連絡調整は。

答 (町長) 舞鶴市での受診や買い物などはしっかりと感染防止を行っていただきたいと考える。近隣府県との情報共有については知事と市町村との会議の場で要請し、対応すると回答を得ている。関係機関との連絡調整は今後もしっかりと取り組む。

問 学校生活における今後の対応、方針は

問 学校における感染症予防対策、児童生徒の心のケアなど多方面におよぶ対策が必要であるが、町の対応と方針は。

答 (教育長) 「3密を避ける」「マスクの着用」「手洗いの徹底」「公共物の消毒」を基本とした感染症対策に取り組んでいる。

問 学校行事については延期の方向で予定をしているが、今後の状況を考慮しながら実施したい。

答 (教育長) 心のケアについては学級担任や養護教諭による児童生徒の状況を把握し、教育相談の実施や、必要に応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、町単独講師、適応支援員を活用し個別に対応していく。

問 熱中症予防のためには水筒を1つでは足りず2つ持つて行く子供がいるが、学校での給水器の設置などは検討できないのか。

答 (教育長) 安全面や衛生面などで問題があり、現状では保護者の皆さまにご理解をいただいて対応願いたい。

問 熱中症予防のため通学や、体育などで子供用の空調服を導入することも考えられるがどうか。

答 (教育長) 安全面や管理上の問題などいろいろな問題が出てくる。



を避ける対応を工夫し、日常生活で生かせる力をつけるのも大事と考えている。

問 子供たちには今までにない経験であるが、町長の見解はどうか。

答 (町長) その時々に応じて正しい予防策を講じていく。危機回避能力を日ごろより身に付けることが最大の感染予防であると考えている。

問 暑さ対策、密接、密集

答 (教育長) 安全面や管理上の問題などいろいろな問題が出てくる。

問 ソーシャルディスタンスを保った授業風景

答 (教育長) 安全面や管理上の問題などいろいろな問題が出てくる。

問 ソーシャルディスタンスを保った授業風景

答 (教育長) 安全面や管理上の問題などいろいろな問題が出てくる。

問 ソーシャルディスタンスを保った授業風景

答 (教育長) 安全面や管理上の問題などいろいろな問題が出てくる。

問 ソーシャルディスタンスを保った授業風景

答 (教育長) 安全面や管理上の問題などいろいろな問題が出てくる。



コロナ対応

審議内容

一般質問

広域議会

追跡

給付率100%を目指すべき

町長 申請が困難な方については、個別に対応するなど、十分配慮していきたい



猿橋 巧

特別定額給付金の給付状況は。

町長 給付対象は3250世帯、8183名で、6月16日現在では3185件の申請があり、申請率は98%となっている。

問 誰一人漏れることなく給付されるよう対応するべき。

答 (町長) 申請には期限があるため、未申請の方などには再度確認の通知をし、高齢者や障害をお持ちの方など、申請が困難な方など

については、福祉担当課と連携を取りながら、個別に連絡をするなど、十分配慮していきたい。

問 第2波の対策に向けた医療体制強化

答 (町長) 今後、第2波の襲来に備えるため、福井県では

①検査体制の強化として、県衛生環境研究センターが行うPCR検査を強化し、5月末時点で1日当り302件の検査が実施できる体制を取っている。

②医療体制の強化として、感染者を受け入れる病床を176床確保し、軽症者や無症状者を受け入れる宿泊療養施設では115床を確保し

ており、感染者数に応じて30床の追加確保も可能である。

問 感染予防対策に関する備蓄の強化

や、福祉対策は。

答 (町長) 現状の備蓄物に加え、感染予防や感染拡大防止のため必要となる物資を、計画的に備蓄していく。

福祉対策として、介護事業所や障害者施設においては感染予防や感染拡大の対策に取り組んでおり、感染などで施設が休業となった場合でも、在宅での訪問サービスなどに対応できるよう、予算措置を行っている。

問 各学校が再開したがる、感染予防の取り組みは。

答 (学校教育課長) 3密を避けることを中心に、マスクの着用・手洗いの徹底・公共物の消毒など感染防止対策を徹底し、保護者を含めた健康観察などの対応をしている。

問 コロナ禍で議論があった9月入学には問題がある。当町として関係機関に断念するよう、意見を出すべき。

答 (教育長) 国では来年9月の入学制について見送る方向となっている。導入については、多くの課題を解決する必要がある、社会全体の合意を得る必要があると考えているため、国の動向を注視したい。

再生可能エネルギー政策の強化が必要

問 再生可能エネルギーの促進のため、太陽光発電への導入

補助事業を復活させるべきである。

答 (副町長) 再生可能エネルギーの重要性は認識しており、国や県の動向を注視して行きたい。

問 南川上流で進めている小水力発電所計画の内容は。

答 (防災安全課長) 名田庄納田終地区の南川第2砂防堰堤を活用し、最大出力130キロワットのサイフォン式小水力発電所が計画されている。この事業の特徴として、県と町が補助する金額4000万円の同等金額を、20年間にわたり地域活性化事業として地域に還元することとしている。

問 風力発電の計画がある。町の考えは。

答 (くらし環境課長) 環境に与える影響などについて適切な調査や評価を行い、専門家や地域住民の意見を踏まえ、慎重に進めていくべきと考える。

教育に関する諸問題

問 ICTを導入することで、集团的学びに影響は出ないか。

答 (教育長) タブレットを使って自分の考えを共有することで、集団でより学びが深まる

問 教職員の労働環境改善が必要では。

答 (教育長) 教職員が心身共に健康で生き生きと働くことのできる職場環境が必要だと認識しており、学校と連携して向上に努めたい。

若狭広域行政事務組合議会

広域ごみ処理施設建設工事の請負契約を可決

若狭広域行政事務組合議会では、6月30日に開催された令和2年6月第2回臨時会において、かねてより計画していました「(仮称) 若狭広域行政事務組合広域ごみ処理施設建設及び運営事業に関する建設工事」の請負契約の締結を、全会一致で可決しました。

この契約の概要は次のとおりです。

- 契約の内容** ごみ処理施設建設工事（設計業務を含む）
- 契約の相手方** JFE エンジニアリング株式会社 大阪支店
- 契約金額** 84億1500万円
- 契約工期** 令和2年6月30日～令和5年3月31日まで

広域ごみ処理施設の概要は

- 場 所** 高浜町水明1番地

●**施設の概要**

- ・鉄筋コンクリート造 地上5階
- ・敷地面積は、約17,300㎡
- ・焼却炉の形式は、全連続燃焼式ストーカ炉
- ・処理能力は、1日に70t
(35t/日が2炉)
- ・余熱利用として、蒸気タービンによる発電を行います



施設の外観イメージ図

●**施設の完成**

- ・令和4年度末に完成し、令和5年度からの利用開始となります

●**施設の運用**

- ・運営期間は、令和5年度から20年間の計画です

この事業は、設計・建設・運営維持管理を事業者に一括発注する、DBO（デザイン・ビルド・オペレート）方式を採用しています。

運営期間（20年間）にかかる運営費については、「広域ごみ処理施設建設及び運営事業に関する運営業務委託契約」を、JFE エンジニアリング(株) 大阪支店と、67億9,910万円で締結しました。

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

審議内容

一般質問

広域議会

追跡



まちづくり団体支援事業の制度見直しを

支援事業の補助額や補助率等を、現在のニーズに合うよう全体的に見直すべき。
(令和元年6月定例会 細川正博 議員)

町長答弁



制度改正などの必要性を検討する

まちづくりへの支援として、団体等の意見を聞きながら多様なニーズに対応できるよう、制度改正も含め検討していきたい。



うみんぴあ大飯へのバス路線を考えるべき

うみんぴあ大飯の利用者の利便を高めるため、うみんぴあへのバスの乗り入れが必要では。
(平成30年3月定例会 原田和美 議員)

町長答弁



地域公共交通会議で検討する

施設の利用促進と、利用者の利便性などの住民ニーズと費用対効果を勘案しながら、地域公共交通会議を通じ検討する。



どうなった？



段階的な補助から、一律な補助へ制度改正

毎年上限30万円の補助額とし、申請する各団体のニーズに合うよう補助する。

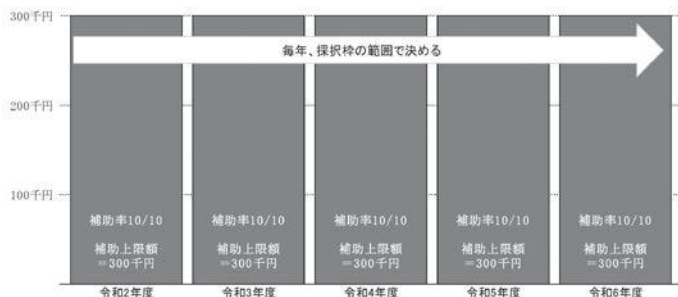


どうなった？



令和2年4月1日から路線バスが乗り入れ

「ホテルうみんぴあ前」と「こども家族館前」にバス停ができ、乗り入れを開始。



まちづくり団体支援事業 新補助制度



新たに設置されたバス停

輝く人

外国車の魅力を語る



RODEO CARS (ロデオカーズ)

松田 宗章 さん (おおい町本郷)



Q おおい町に帰って起業したきっかけは。
A 愛知県で外国車専門のディーラーに就職していましたが、地元であるおおい町に戻り、自分のお店を持ちたかった。若

狭圈内に外国車を専門に扱うお店がなかったの
 で、需要が見込めると考
 えました。
Q お店の仕事内容は。
A 外国車の販売や修理、整備が専門ですが、

国産車の整備やタイヤ交換など一般的な自動車の事ならなんでも可能で
 す。その他にも、バイクや自転車なども整備、修理も承っています。今年で開業8年目です。おおい町のみなさんにもっと気軽に足を運んでいただけると嬉しいです。
Q 外国車の魅力について。
A 国産車では10年前のものは、見た目で古いモデルだと感じられてしま
 いますが、外国車はモデルチェンジが少なく、10年前の車でも、新鮮に見えます。64年前の車でも、見る人によればとてもお洒落に見え、魅了されるのが特徴です。

Q 神社のお仕事をされているとお聞きしましたが。
A 実家が神社のため、お祭りなどを手伝いするため、3年前に権禰宜として職位を持ちました。
Q 外国車販売と神

職の両立は珍しいですね。
A 良く言われますが、どちらも歴史、文化、魅力があり、両立することにより、新しいものが見えてくることもあります。
Q これからのおおい町に求める事は。
A 開業するときに起業できる土地や融資の情報を得るために苦労しました。今後、起業される方のために情報提供の機会を増やしていただきたい。県外から移住していただける方を増やしていきたい、新しい視線での意見を取り入れ、活気のあるおおい町になって欲しいと思います。



おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。
 次回の定例会は9月です。傍聴については議会事務局 (77-4060) までお問い合わせください。

9月定例会の予定

会 期：9月1日から24日まで (24日間)
 本会議：1日 (議案提案理由説明)、15日 (一般質問)、24日 (採決)
 委員会：総務・産業建設常任委員会 (4日)、予算決算常任委員会 (1日・2日・3日)、原子力発電対策・地域振興対策特別委員会 (8日)

編集後記

田畑が乾ききっていました
 が、一転して雨模様の梅雨入りとなりました。人間には蒸し暑く憂鬱な季節ですが、植物の成長にとっては大切な時期に入りました。

今回の新型コロナウイルス禍で、一極集中社会がもたらす弊害が露呈しています。

テレワークでの仕事も一層進むと思われ、水と空気が電力と若者を輩出してきた本町ですが、これからはサテライトオフィスなどで地元
 に居ながら仕事ができる社会が形成できればと思っています。

新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束することを切に祈っています。

(田中 記)

広報特別委員会

委員長	原田 和美
副委員長	堤 満也
委員	細川 正博
〃	桑田 和弘
〃	田中 秀樹
〃	屋敷 浩道